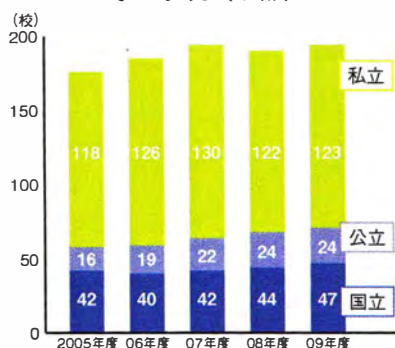


英語で授業を受講

図表5 「英語による授業」を行う大学の状況(学部)



出典：文部科学省「大学における教育内容等の改革状況について」より

※「英語による授業」とは、日本語を併用するもの及び英語教育を主たる目的とするものは含まない。

約3割の大学が「英語による授業」を行う

グローバル人材には英語力に加え、外国人と英語で議論できるコミュニケーション力なども求められます。最近、これまで日本語で行われてきた教養科目や専門科目を、英語で教える大学や学部が増えてきました。中には、コミュニケーション力を身に付けることを

ENGLISH COMMUNICATION

高い英語力とコミュニケーション力を養成

目的に、少人数制で授業を進めたり、プレゼンテーションなど発表の機会を多く設けたりする大学もあります。

文部科学省によると「英語による授業」を行っている大学(学部)は、2009年度で194大学です。これは全大学の約27%を占めます。これは全大学の約27%を占め、05年度(176大学)から18校増加しました(図表5参照)。さらに、英語による授業だけを履修して卒業できる大学(09年度)は、8大学9学部あります(図表6参照)。

一般的に大学の英語の授業数は、1週間に数コマであることが多く、

高い英語コミュニケーション力に身に付けるには、授業のほかに相応な自習が必要となります。大学時代に使える英語力を身に付けることを目指すのであれば、「英語を学ぶ」だけでなく、「英語で学べる」大学に進学するのも1つの方法です。

ただ、そのような大学の中には、海外からの留学生を呼び込むことを目的に設置している大学もあります。英語力が高くない日本人学生が学ぶためには、どんなサポートシステムがあるかなどをチェックしておきましょう。

図表6 「英語による授業」のみで卒業できる学部(09年度)

国際教養大学 国際教養学部 (秋田・公立)
東京基督教大学 神学部 (千葉・私立)
上智大学 国際教養学部 (東京・私立)
多摩大学 グローバルスタディーズ学部 (東京・神奈川・私立)
法政大学 グローバル教養学部 (東京・私立)
早稲田大学 国際教養学部 (東京・私立)
立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部、国際経営学部 (大分・私立)
宮崎国際大学 国際教養学部 (宮崎・私立)

出典：文部科学省「大学における教育内容等の改革状況について」より

グローバル教育で 注目を集める2大学 国際教養大と 洋大

グローバル教育を推進する大学が数多くある中、秋田の国際教養大学と大分の立命館アジア太平洋大学は、高校の先生や企業、マスコミなどから注目を集めている2大学です。キャンパスは大学が多く集まる首都圏ではなく地方に位置し、授業方法や留学支援などで特徴ある教育に取り組んでいます。どのようにグローバル人材を育てているのでしょうか。その「秘密」を探りました。



国際教養大学 (A I U)

GLOBAL EDUCATION

保護者世代ならば、グローバル教育を進める大学で頭に思い浮かぶのは、東京外国語大学や上智大学、国際基督教大学 (ICU) などではないでしょうか。外国語教育を専門としたり、留学生や外国人教員の比率が高かったりする大学です。確かにそれらの大学は長年、グローバル人材の育成に力を入れてきており、今でも高い人気を誇っている大学です。

一方、2000年以降に開学した「新興大学」にも、特徴ある教育で注目を集めているところがあります。中でも国際教養大学 (A I U、秋田県秋田市) と立命館アジア太平洋大学 (A P U、大分県別府市) は、高校関係者や企業などから注目されている大学です。両大学に共通するのは、グローバル人材に必要な「高い英語力」や「異文化理解力」などが身に付くような教育環境にあります。

英語力を身に付けたいと 卒業できない仕組み

A I Uでは外国語のコミュニケーション能力を高めるために、全ての授業が英語で行われます (留学生対象の日本語科目は除く)。新生はまず、英語で学ぶための



立命館アジア太平洋大学 (A P U)

英語力を身に付けるために「英語集中プログラム (E A P)」を履修。E A Pを通してTOEFL 500点以上に達しないと、一般教養科目である「基盤教育」を履修できない仕組みになっています。

一方、A P Uでは全科目の約8割は、同じ内容を日本語と英語で実施。また日本人学生は卒業要件124単位のうち、英語による教養・専門科目を20単位以上取得することが義務です。英語による科目を受講するには、TOEFL 500点相当に到達しなければならず、英語力を身に付けたいと履修できず、卒業できません。

▶ AIUとAPUを徹底比較！

2つの大学の「授業」や「言語教育」「留学や留学支援」「学生寮」「学費」などについて比較してみました。
それぞれの特徴がみえてきます。

国際教養大学 (AIU)		立命館アジア太平洋大学 (APU)
秋田県秋田市	所在地	大分県別府市
2004年4月	開学	2000年4月
国際教養学部	学部	アジア太平洋学部 (APS) 国際経営学部 (APM)
834人 (12年4月現在。正規留学生含む、交換留学生除く)	学生数 (学部)	5427人 (12年5月現在。短期留学生除く)
○正規留学生=18カ国・地域から36人 (12年4月現在) ○交換留学生=19カ国・地域から114人(同)	海外からの 留学生数 (学部)	59カ国・地域から2267人 (12年5月現在。在留資格が「留学」である学生のみ。 短期留学生は17カ国・地域から64人)
○全てを英語で学び、英語で考える授業 ○1クラスあたり15人程度の少人数制 ○教員の一方的な講義ではなく、学生の発言を引き出す授業 ○累積評価平均値 (Grade Point Average: GPA) による成績評価 ○教員の約半数が外国籍	授業の特徴	○年2回の入学制度 (4、9月) やセメスター (2学期) 制とクォーター (4学期) 制の併用により自由度の高い学習スケジュール ○日英二言語教育 ○教員の約半数が外国籍 ○協調学習システム (ピアシステム) ○現地参加型学習「アクティブ・ラーニング」
○入学後、「英語で学ぶ」ための英語力を身に付けるため、「英語集中プログラム (EAP)」を必ず受講 ○学生の力に合わせたレベル分け ○自らの目標に向かって努力する「自主言語学習」 ○母語と英語に加え、第2外国語を学ぶ「三言語主義」	言語教育	※日本人学生の場合 ○入学時の英語レベルに応じて「スタンダード」と「アドバンス」の能力別クラスに分かれ、1、2回生の間に、英語で授業を受けられるレベルを目指す ○3、4回生時には、英語開講クラスを受講。「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」へ ○6つのアジア太平洋言語を学ぶことが可能
○1年間の海外留学が義務。留学にはTOEFL550以上、GPA成績2.50以上が要件 ○海外提携大学数は38カ国・地域130大学 (12年4月現在) ○国際教養大学に授業料を納めることで、留学先大学の授業料は免除 ○海外で取得した単位も認定	留学や 留学支援	○海外協定大学・研究機関数は約400、交換留学先は世界38カ国・地域の114校から選べる ○短期間の異文化体験学習から海外大学との共同単位プログラム (2年間留学) まで、多彩なプログラムを提供 ○国際通用性のある単位互換制度を採用
○入学後1年間の寮生活が義務 ○留学生との共同生活 ○1年間の寮生活を体験したレジデント・アシスタント (RA) が共に生活し、新入生をサポート	学生寮	○学内に寮「APハウス1、2」を完備。留学生は入学から1年間入居、日本人学生は希望者が入居できる ○学生スタッフのレジデント・アシスタント (RA) が各フロアに常駐、生活面のあらゆるサポートを行う
○入学金=県内学生28万2000円、 県外学生42万3000円 ○授業料 (年間) =69万6000円	学費 (入学金、年間授業料)	○入学金=13万円 ○標準授業料 (年間) =約132万円

グループワークやディスカッション、プレゼンテーションなどを英語で行う

欧米の大学などで一般的に使われている成績評価方法を「AIU」では各履修科目を「A+ (4.00) ~ F (0.00)」の12段階で評価点をつける

学内にある言語異文化学習センター (LDIC) で自分で興味のある言語を決めて学べる

第2外国語には中国語、韓国語、モンゴル語、ロシア語、フランス語、スペイン語がある

留学は2年次の冬から3年次の秋にかけてスタートするケースが多い

免除は一部の大学を除く。住居費や食費、渡航費などは学生負担だが、欧米のトップクラスの大学は年間300万円ほどの学費がかかるため魅力的

これにより留学期間を含めても4年間で卒業が可能になる

開講科目の約8割を日英両言語で開講しており、日本人学生は卒業要件124単位のうち、英語による教養・専門科目を20単位以上修得することが義務

国際学生 (留学生) と国内学生 (日本人学生) の教え合い、学び合うシステム

異文化体験学習、海外言語研修、交換留学、フィールドスタディなど

中国語、韓国語、マレー語・インドネシア語、スペイン語、タイ語、ベトナム語を学べる

約1310人が収容可能。個室932室、シェアルーム189室

授業料は「固定授業料 (68万4000円) + 単位授業料 (1単位 = 2万5000円)」のため、取得単位数により異なる。
《例えば「30単位履修」の場合》68万4000円 + 61万5000円 (2万5000円 × 30単位) = 129万9000円

留学や学内生活で海外の文化などを理解

異文化理解という点では、AIUは海外の大学へ1年間の留学が必修です。修め、現地大学の正規の授業を履修し、20〜30単位を取得する解とを促しており、高い語学力コミュニケーション力、異文化力などが身に付きます。APUは留学が義務ではありません。の、学生の約4割を約80カ国・地域からの留学生が占めている環境、日常的に多文化・多言語に身を置きながら学ぶことが可能です。また、目的ごとにさまざまな留学・海外学習プログラムを提供。学生に、在学中に一度は海外で学ぶことを勧めています。

今回、AIUの中嶋嶺雄学長とAPUの本間政雄副学長に大学の特徴などを聞きました (48、49ページに掲載)。口を揃えたのは「日本人学生であっても世界に目が向いている」ということ。学生生活を通じて世界を身近に感じること、自然に海外にも関心を持つようになれる。企業などから評価を受けている理由は、学生がそんな能力を身に付けているからではないでしょうか。

先輩の本音！ 大学を選んだ理由は？

AIUとAPUに通う学生は、どんな理由で今の大学を選び、入学後にはどんなことを感じて過ごしているのでしょうか。
入学理由と大学の魅力について、各校5人ずつコメントしてもらいました。

【国際教養大学（AIU）】



濱野 雄太さん
2009年入学

A.1 オープンキャンパスで出会った学生の顔が生き生きしていたのが、一番の決め手でした。それぞれの学生が目標を達成するために努力する姿は、高校生の自分にとってとても刺激的で魅力がありました。

A.2 学生の積極性です。目的意識や問題意識が高く、「自分は何ができるのか、実現するにはどうすればいいか」を考え、実際に行動する人がいることです。そのような環境があることは素晴らしいと感じます。

A.1 大学を選ぶ際には①社会学の勉強ができること、②国際的な視野を持って学べる環境であること——の2つの条件を決めて探していました。知人に本学を紹介され、興味を持ちました。

A.2 国内外の多様な価値観や文化が共存している点や、一生懸命取り組みたいと思っていることを実現できる環境：仲間が揃っていることです。仲間との活動や語らいではいつも刺激を受けます。



井上タ香理さん
2009年入学

A.1 理由は2つあります。1つ目は大学の選択肢の多さです。授業選択や自分の進路を選ぶにもたくさんの選択肢があります。2つ目は、やはり必修である1年間の留学経験でした。

A.2 乗り越えなければならぬ大きな“壁”があることです。英語集中プログラムや留学に必要なTOEFLの点数の獲得などがあり、目標に向かって全力で取り組んでいることを日々感じることができます。



小笠原 夢さん
2009年入学

A.1 アットホームな雰囲気にほれ込んだのがきっかけです。他大学と比べて学生数が少ないため、みんな家族のように仲が良いです。授業は少人数のため、先生に気軽に質問や意見を言えるのも魅力でした。

A.2 一生大切にできる仲間に出会えること。1年目は寮生活が義務であり、2年目以降も学内アパートや大学の近くに住む人がほとんどなので、すぐ会うことができ、家族のように親しくなることができます。



鈴木 愛梨さん
2010年入学

A.1 ①自分の英語力を海外の留学生と議論できるレベルまで伸ばしたかった。②遊ぶところがほとんどない秋田で、勉強に打ち込みたかった。③大多数の日本人学生が同じようなキャンパスライフを送る既存の大学より、面白い大学生活を送れると思ったからです。

A.2 全国や世界各国から来た学生たちと日々交流することにより、お互いの文化や価値観を共有し、国際理解を深められます。



矢野 圭祐さん
2011年入学

【立命館アジア太平洋大学（APU）】



山崎 翔吏さん
アジア太平洋学部
2回生

A.1 日常生活の中で英語やその他の言語を学ぶ機会が多く、また環境学や開発学など僕が学びたい学問もあり、「僕にとっては一石二鳥の学校だ!」と思って選びました。

A.2 比較的新しい大学なので、学生の意見を柔軟に取り入れてくれるところです。「自分から行動を起こせば、もっと素晴らしい大学にできる」と、常に向上心を持って大学生活を送ることができています。

A.1 高校生の時にアメリカへ留学しました。大学では英語で勉強をして、英語で生活することができる環境を望んでいました。また、勉強以外の活動も積極的に取り組みたかったため、本学を選びました。

A.2 世界中から集まった留学生などは魅力的な人が多いです。文化が異なるため、考え方や発想など刺激を受けています。キャンパスが向上心を常に忘れない環境であることも魅力です。



杉田 大樹さん
アジア太平洋学部
2回生

A.1 直感です！ きっかけは高校生の時に参加したオープンキャンパスでした。学生が主体的に行っており、一人ひとりの学生が、大学に対して誇りを持っているのがよく分かり、魅力を感じました。

A.2 国際色豊かな大学であるということです。留学生などが住む学生寮で、私は寮生のサポートをしています。毎日が新しい発見と出会いで溢れており、世界中のひとと家族のような絆を深めることができます！



坂井 友美さん
国際経営学部
3回生

A.1 「世界を見たい」という理由からです。母国インドネシアの理系大学にも受かっていましたが、先輩が紹介してくれた本学へ入学を決めました。

A.2 「自分」というアイデンティティーが分かるようになること。「小さな世界」である本学では、さまざまな国の人と一緒に生活する中で、大きな世界のことだけではなく、小さな自分のことももっと分かるようになります。これは素晴らしいことだと思います。



Adhika
Surya P.さん
アジア太平洋学部
3回生

A.1 中学生の頃から海外の紛争地域で取材をする日本人記者の仕事に興味がありました。本学は言語教育に力を入れており、多文化環境が魅力的で、私の将来につながるのではないかと考えたからです。

A.2 学内では外国人と接する機会が多いので、日常的に英語でコミュニケーションがとれるようになったことや、授業やゼミのときに、日本人にはない外国人の思考や発想に触れられる点です。



野辺 幹蔵さん
アジア太平洋学部
3回生

大学のグローバル人材教育論



国際教養大学の中嶋嶺雄学長と
立命館アジア太平洋大学の本間政雄副学長に、
どのような人材を育成しているのか、
それぞれ話をお聞きました。



国際教養大学

中嶋 嶺雄 理事長・学長

1936年生まれ。東京外国語大学を卒業し、65年に東京大学大学院を修了。専門は国際社会学。95～2001年に東京外大の学長を務めた後、04年の国際教養大学の開学当初から現職

教養教育と語学力強化を柱に グローバル人材を育成

「知的土台」を持つことで
変化する国際社会へ柔軟に対応

日本にはないグローバルスタンダードの大学を目指し、2004年に開学しました。世界の若者と伍していける人材を育成するため、「授業は全て英語で行う」「1年間の海外留学が義務」「教養（リベラルアーツ）教育に重点をおく」「1クラス15人程度の少人数制」「欧米の大学と同じ成績評価方法」などの特徴があります。開学から9年目と歴史は浅いですが、高校の先生や企業の方から高い評価をいただいています。

教育の柱は、教養教育と英語コミュニケーション力の強化です。世界で活躍できる人材になるには、教養と英語力は欠かせないため徹底的に学ばせます。

教養とは単に多くの知識を持つことではなく、人生や哲学など人間の原点を突き詰めて考え、「知的土台」を持つことです。多くの

日本の大学は1991年の大学設置基準の「大綱化」で、教養より専門分野の教育を重視するようになりました。しかし、世界的に学部教育の中心は教養でし、幅広く身に付けることで、急速に変化する国際社会へ柔軟に対応できるようにになります。

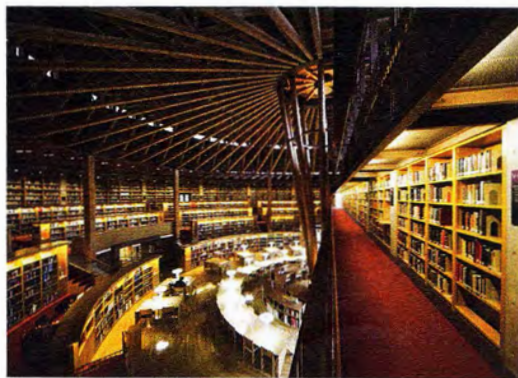
1年間の海外留学が義務 苦学を通じて大きく成長

さまざまな学びの中で、学生が最も大きく成長するのは1年間の海外留学ですね。入学2、3年目をめどに全員が海外の提携大学で学びます。しかも単なる語学留学ではなく、留学先で正規授業を履修し、20～30単位を取得することを促しています。海外で単位を得るには、語学力のハンディは言い訳にならず、現地の学生以上に勉強することが求められます。これはかなり鍛えられますね。

帰国後、学生はしっかり自己主張できるようになり、視点がグ

ローバルになります。世界的な貧困や人権、宗教、環境などの問題に対して真剣に考えるように成長します。さらに日本の良さ、特に日本製品が優れていることを認識する学生が多いです。就職活動では、語学力を生かせる商社などより、メーカーへの希望者が多いのもその影響なのかもしれません。

課題は近年偏差値が上がってきたこと。受験勉強だけをやってきた「もやしっ子」のような学生が増えることを懸念しています。タフなグローバル人材を養成するために、多様な入試方法などを検討しています。世界的なリベラルアーツカレッジを創りたいですね。



「いつでも勉強できる場を提供したい」という思いから、大学の図書館は24時間・365日開館する